



令和8年度 安曇野市立 明北小学校グランドデザイン

安曇野市教育理念：からだを動かし、頭で考え、心に感ずる～未来を拓くたくましい安曇野の子ども～

<学校教育目標>

「あかるく しなやかに 生きる 子ども ～みんなでつくる明北小～」

- ・「あかるく」…元気よく、心も体も健康で過ごせること。
- ・「しなやかに」…柔軟にものごとを考え、困難や失敗をのり越えることができること。

<具体目標> <学校で伝えたい言葉>

- あ いさつのできる子—「おはようございます」
- か んしゃのできる子—「ありがとう」
- し あわせな子 ———「たのしいね」
- な かのよい子 ———「いっしょだとうれしいね」

<子どもたちの願う学校>

- ・あいさつや返事をして、気持ちのよい学校
- ・譲り合って、みんなでたくさん遊べる学校
- ・みんなが笑顔で楽しい学校
- ・みんなが過ごしやすい学校
- ・明るく仲のよい学校、助け合う学校

<学校長の願い>

- ・誰とでも「あいさつ」を交わすことで、あかるく気持ちよく学校生活を過ごしてほしい。
- ・いろいろな人たちのおかげで、私たちは安心・安全に学校生活が過ごせていることに感謝できるようになってほしい。「ありがとう」の言葉が響き合う明北小学校になってほしい。
- ・「好き」「楽しい」「なぜ」を追求しながら、心と体、そして自分を取り巻く周りもよい状態で、学校生活を「楽しい」と感じて過ごしてほしい。
- ・学年を超え、全校の誰とでも仲よく「みんなと一緒にだと嬉しい」と感じる学校生活を送ってほしい。

「あ・か・し・な」を実現する **小規模特認校 (YOU-COSO)** ようこそ →令和7年度スタート 明北小の魅力を発信

- ・「集まる学校」行事や集会など全校で集まる機会の多くある学校。
- ・「環境のよい学校」かんだち山や廃線敷などの周囲の自然豊かな環境、校内のゆとりのある教室環境。
- ・「少人数での学びや体験のできる学校」先生や友達との距離が近く、伸び伸びと学ぶことができる。少人数だからこそ各自に役割があり、体験や学びの機会が多く持てる。
- ・「仲間づくりができる学校」たてわり班の活動をはじめ全校や異学年での活動が多くあり、学年を超えた仲間づくりができる。また明科地域には、北こども園と南こども園、明南小学校、明科中学校、明科高校があり、地域での仲間づくりができる環境がある。

ウェルビーイング実践校 (TOCO-TON) トコトン の取組 (3年計画の2年目)

【目標】(子どもも、教師も、地域も) **チャレンジと探究で「ふるさと明科」を心に刻む明科教育**

- ・子どもたちの「やってみたい」を原動力に地域へ飛び出し、教師も共に楽しむ取組を本格化させる。
- <大切にしたいこと> ・子どもの主体性を引き出す「全校行事・縦割り班での活動」の充実
- ・「ふるさと明科」をのびのびと探究する授業づくり
 - ・連携を深化させる地域ネットワークの構築

<今年度、教師が大切にしたい姿勢> ・場を整え、人と人をつなぐ

- ・成長の種をまく (学びに向かう問いをつくり、試行錯誤をしながら対話を通して思考を深める)
- ・原動力を生む伴走者 (子どもと共に悩み、楽しみながら、活動に向かい推進力を生み出す)